

本社に特別寄稿

二十一日から九月一日まで国立京都国際会館で第... 二十五回バグウオッシュシンポジウムが開かれ... 同シンポジウムには、二十五回、約六十人... の「トップリーダー」が参加、二定数軍縮への新し... い構想「科学者および技術者の社会的責任」を... テーマに五日間の討議を繰り返す。ソ連を代... 表して同シンポジウムに参加するシリヤ・エメ... リヤノフ氏が、ノーボスチペリヤ紙東京支局を通じ... て、京都新聞社に特別寄稿して、同氏は「広...

バグウオッシュ会議参加の

エメリヤノフ氏



島の悲劇の三十周年に寄せてと題する原稿の中... で、世界平和を維持するために一人ひとりが世界... の政治動向に注意し警戒心を弱めないことが大切... だと強く呼びかけている。以下は全文。

一九四五は、すでに一九三... 年に次のように書いている。  
「人間が原子力を手中ににぎる... 日も遠くない。これは人間に自分... の運命をおりの生活を築く可能性... を与えるエネルギー源である。近... 将来か、一世紀後になるかはわ... からないが、どうなるにせよいな... らないことは、まぎりもなく... である。人間はこの力を回避するこ... なく、よびここのために利用で...

シリヤ・エメリヤノフ氏、一九〇一年生まれ。... リヤノフ氏、一九〇一年生まれ。... 業士として働き、ソ連連合会議付属機... 構委員会委員長、同原子力委員会副... 議長、議長を歴任。現在はソ連科... 学アカデミー準会員、同幹部会付... 属の「軍縮の学術的諸問題」に關す... る委員会「議長、工学博士。

「ソ連の科学者たちは、核兵器の製造... 集いが開かれ、核兵器の製造にた... らず、新しい「プロトチ」科学... 者、技術者の社会的責任」とい... うテーマを討議することになり... たり、筆者を自めたソ連の科学者... も現代のこの緊急問題について見... 解を述べたものである。  
平和をまもる闘争でのソ連も世... 界の世論の努力は、その力をあた... らしてはいるが、この道はまた... ます険路が多い。  
実例は手近にみることができる。  
ついで最近、多くの国の世論は、

平和を守るため警戒心を

〜広島市の悲劇三十周年に寄せて〜

1978.8.26 京都

島と長崎の悲劇は忘れられていな... い。この悲劇は、地球に播種さ... れた核兵器がいつか行進された... らんたな事態が起るのを警告し... ている。

層が核戦争の脅威に永久に終止... を打つという意思を表明してい... のは、まったく当然のことであ... る。

「武器のない世界をつくる協定... を達成することは、人類の偉大な... 歴史的目標である。いまや人間の... 成長したのだろうか？ 科学者... は科学研究、科学の進歩がもたら... すおそれのある結果に目をさす... てはならない。自分たちの意見が... もたすものについて、責任を認... しなければならぬ。自分の研究... を人類をとりよへ組織すること...

今日これらの問題は世界の数百... 万の科学者の深い関心事となっ... ている。つい最近モスクワでは軍縮... をめざす闘争での科学者の役割に... ついて国際シンポジウムが、六十... 二カ国の代表を集めて開かれた。

八月二十八日には京都でバグウ... オッシュ運動のわく四の科学者の... 集いが開かれ、核兵器の製造にた... らず、新しい「プロトチ」科学... 者、技術者の社会的責任」とい... うテーマを討議することになり... たり、筆者を自めたソ連の科学者... も現代のこの緊急問題について見... 解を述べたものである。  
平和をまもる闘争でのソ連も世... 界の世論の努力は、その力をあた... らしてはいるが、この道はまた... ます険路が多い。  
実例は手近にみることができる。  
ついで最近、多くの国の世論は、

三十二年米国の支那層は広島... と長崎への原子爆弾落下を決定した... その結果この両都市はほとんど... 完全破壊され、数十万の民間人... が死んだ。  
また、この悲劇のなごりらの人び... とをなげき、死ななければなら... ないだろうか？ 軍事上の必要... か、いや、いや、いや、いや、いや... 都市を破壊攻撃して、日本の軍... 事力を軍部指導者の戦争遂行の決... 意を弱めることはならなかった... し、どうなるはずもなかった。当... 時の米国の指導者たちが自身の証言... に基づいて裏付けられた歴史的事実... は、この新兵器と多数の日本人の... 生命が、戦後の世界での覇権確立... をねらう軍部指導者の政治的駆け引... きの切り札であったことを明らかに... して、三十二年の悲劇をなが、広...

この地上に平和と幸福の道をま... ない国民はいない。一九五〇年に... は核兵器禁止のストックホルム・... アヒルに八カ国五億人が署名... した。この五億人の広範な...

坂田昌一氏の提唱で一九六二年... 五月に日本で開催された集いで...

地球化学の創始者の一人ウラジ... ーミル・ペルナツキー（一八六三... を人類をとりよへ組織すること...

「武器のない世界をつくる協定... を達成することは、人類の偉大な... 歴史的目標である。いまや人間の... 成長したのだろうか？ 科学者... は科学研究、科学の進歩がもたら... すおそれのある結果に目をさす... てはならない。自分たちの意見が... もたすものについて、責任を認... しなければならぬ。自分の研究... を人類をとりよへ組織すること...

今日これらの問題は世界の数百... 万の科学者の深い関心事となっ... ている。つい最近モスクワでは軍縮... をめざす闘争での科学者の役割に... ついて国際シンポジウムが、六十... 二カ国の代表を集めて開かれた。

c092-17-038